



園長だより No. 6 R8. 5. 25

先日、浜松市環境整備課に依頼し、ネイチャーゲーム指導員のかし佐鳴台にあります「シンプリーショップ」の山本さんをお招きし、「目隠しトレイル」を行いました。その時の様子をちよとところで、「目隠しトレイル」というネイチャーゲーム、ご存知ですか？仕掛けは簡単で、森や公園などの樹木にロープを渡すだけで準備完了。5月19日(火)のこのロープを目隠しした状態で辿るのがこのゲームです。まず目隠ししない状態で、ロープを辿って、ゴールまで歩きます。そして本番！目隠しして同じようにロープを辿るのですが、この感覚が眼を閉じた時とは全く異なるのです。足取りはめきり遅くなり、腕を前に突き出して障害物がないか確認したり、つまづくことのないように用心に用心を重ねて歩きます。短い距離も、はるかな距離に思えることが不思議!! 人間、いかに視覚に頼っているかを改めて思い知らされます。「視覚」以外の感覚を研ぎ澄ます。それは、風のそよぎ、草木のこすれあう音、平旦に見えて凹凸がある地面、落ちている小さな石ころ、自身の足音など、日常の中で、見すごしている自然から察知出来る感覚が、面白くもあり、見えなだけに 恐くもあり。

Instagramにもアップさせて頂いています。

人って集中すると、ひと言も喋れなくなるものなんですね。口をへんの字にして、超慎重に歩いている子、足と手を交互に、少〜しずつずらして、へっぴり腰な子。どの子も、ゴールに辿り着いた途端、付けていたマスクをパッと外して、「やった〜♡」と安堵感を漂わせ、満面の笑顔でした。集中していたからこその充実感溢れる笑顔だったと思います。「志都各幼稚園ではフルド音・香り・地面・風など、自然を深く感じられる、貴重な体験でした。ゲームを取り入れ、遊んでみるのもいいですよ！」



ロープだけを頼りに集中して歩く子ども達

